

# 平成 27 年度 中国地方発明表彰 発明奨励賞 受賞

平成 27 年 11 月 5 日 (木) セントコア山口 (山口県山口市) にて開催された、平成 27 年度中国地方発明表彰 (主催: (公社) 発明協会、後援: 文部科学省・特許庁・中小企業庁ほか) において「かぶせ網による海洋生物の定量調査方法 (特許第 4445440 号)」 [岡山県発明協会] が「発明奨励賞」を受賞しました。  
(受賞者: 海洋建設(株) 藤澤真也・片山貴之・田原実・片山敬一)

## かぶせ網使った海洋生物調査法

海洋建設

### 中国地方発明表彰で発明奨励賞

海洋建設(岡山県倉敷市、片山真基社長)が開発した「かぶせ網による海洋生物の定量調査方法(特許第4445440号)」が、昨年11月の2015年度中国地方発明表彰(主催: 発明協会、後援: 文部科学省、特許庁・中小企業庁)で発明奨励賞を受賞した。ホンドワラ類やアマモなどによる藻場には、魚類の稚魚をはじめ多くの生き物が生息することが知られていますが、その効果を正確に把握することはなかなか難しいことです。当社が開発した「かぶせ網による海洋生物の定量調査方法」では、これまで主として目視観察で行われてきた調査に比べ、精度高く藻場に生息する生物について把握することが可能になりました。

生態系の多面的な機能発揮に貢献

定量的に把握できる。生物の逸脱が少ない。というメリットがある。

同社は元漁業者の片山敬一(会長)が1983年に設立。廃棄される貝殻に着目し、貝殻を充填したメッシュユナイブで組み立てる人工魚礁「JFD エルナース」を開発した。JFD全漁連を通じて全国に販売している。これにリサイクルの推進につなげることも、微生物や様々な小型動物の生育の場を供給し、里海の生物多様性の向上に貢献してきた。貝殻の持つ生物増殖機能は藻場の水産環境整備にも寄与している。環境保全と水産資源の増殖を両立するユニークな取り組みは、これまで農水省や岡山県から表彰を受けている。昨年7月には、国交省から海事関係への貢献で初めて表彰された。

※ 大正 10 年に開始した地方発明表彰は、実施されている優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者・研究開発者を顕彰するものです。(公益社団法人 発明協会H.P. より)



平成28年1月1日(金)  
水産タイムス

(受賞テーマ)

## かぶせ網による海洋生物の定量調査方法

特許第 4445440 号

海洋建設(株)水産環境研究所

ホンダワラ類やアマモなどによる藻場には、魚類の稚魚をはじめ多くの生き物が生息することが知られていますが、その効果を正確に把握することはなかなか難しいことです。当社が開発した「かぶせ網による海洋生物の定量調査方法」では、これまで主として目視観察で行われてきた調査に比べ、精度高く藻場に生息する生物について把握することが可能になりました。



作業の状況

### 目視観察による問題点

- ・海藻類の陰影に隠れる生物の観察が難しい。
- ・調査員の技量による影響が大きい。
- ・透視度等の水中環境の影響が大きい。



捕獲された生物



ガラモ場 (アカモク)

### 本工法によるメリット

- ・対象範囲の生物を全て捕獲することから定量的で精度の高い調査結果が得られる。
- ・透視度等の水中環境に影響されにくい。
- ・海藻類の現存量を定量的に把握できる。
- ・生物の逸脱が少ない。